

# 平成25年度 事業報告書

## I. 事業内容

### 1. 北陸地域の産業の活性化に関する調査、研究事業 【継続事業1】

#### (1) 「北陸地域における観光産業の現状と課題」に関する調査及び研究<自主調査>

北陸新幹線が金沢まで延伸され、平成27年3月に開業する予定である。新幹線が、地域経済にもたらすインパクトは大きく、北陸地域の経済発展に資する貴重なインフラとして期待されている。

当財団では、北陸新幹線開業により、地域および観光産業への影響や地域の戦略等を明らかにすべく、調査・研究事業として取り組んだ。

調査にあたっては、東北新幹線および九州新幹線沿線の地域の観光・鉄道・行政等の関係者への訪問取材を実施した。北陸新幹線より先行した地域の取り組みなどを参考にして、北陸地域の観光産業が発展していくためには、何が必要かなどについて取りまとめた。また、北陸地域の観光関連事業者を対象にアンケートを実施し、それぞれの問題点、課題、ニーズを調査した。

報告書の完成にあたっては、観光事業、交通事業に関わる有識者によるアドバイザー会議を実施して、内容について審議した。報告書の概要は以下のとおり。

#### <前半部>

先行の新幹線と北陸新幹線の特徴を見ることにより、新幹線と連携した地域の発展について掲載した。

- ・北陸新幹線の歴史と開業後の経済効果
- ・既存5新幹線（東海道・上越・東北・九州・長野）の駅等の特徴や地域に与えた影響
- ・北陸新幹線の特色および地域が発展するために、行政、事業者などの各セクターに求められているもの
- ・北陸新幹線の4駅（黒部宇奈月温泉・富山・新高岡・金沢）とそれぞれの街づくりの方向性

#### <後半部>

北陸地域の観光産業に絞って課題等について取りまとめた。

- ・北陸新幹線開業に伴う観光産業への影響
- ・日本の観光産業の特徴、観光が産業として成長する可能性
- ・北陸の観光産業の現状、点在する観光スポットの周遊性や付加価値化など
- ・国内の旅行消費が伸び悩んでいる中、北陸のインバウンドについての可能性

#### A. 先進地視察（新幹線関連）

視察日	視察先
平成25年12月9日(月)～11日(水)	東北地域
平成26年1月26日(日)～28日(火)	九州地域

#### B. アドバイザー会議

平成26年3月12日(水) 金沢市 金沢都ホテル

### (2) 「北陸地域における健康・医療・介護・福祉関連産業の実態と将来展望」に関する調査及び研究<自主調査>

わが国の高齢化率は平成24年（2012年）には24%を超えており、人口減少も既に始まっている。国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成24年1月推計）」によれば、平成72年（2060年）の人口はわが国全体で8,674万人、高齢化率は40%に達していると見込まれており、社会の構造が大きく変わることは必至である。

そして、高齢期の生活を支えている健康・医療・介護・福祉に関連する産業を支えているのは市民や企業が支払う税や社会保険料であることから、生産年齢人口の負担がどのようになるかといったことに加え、安心して働き続けられる社会であり続けるのかといったことから、企業活動にも大きな意味を持つことになると考えられる。

本調査では、北陸地域のデータを統計的に処理して類型化し、北陸地域で高齢者が安心して暮らし続けられる社会のあり方を提示した「北陸モデル」を、大学の研究者や社会福祉法人運営関係者などから招聘した検討委員会において考察した。その成果が企業関係者や行政関係者に広く活用され、より持続可能性の高い地域社会の構築に資することを期待して報告書を取りまとめた。報告書の概要は以下のとおり。

北陸3県51市町村の特性を他地域と比較した統計データから、例えば北陸地域は持ち家率や3世代同居率、共働き率などが高い、人口密度が低く車依存度が高いなど、住まいかたの面で特徴ある地域であることが明らかになった。これらは、日中独居で外出困難な状況にある高齢者の存在を示唆するものであり、高齢者の生活支援ニーズが潜在的に存在していることを示している。

このような生活支援ニーズとして、例えば買い物支援や調理支援、洗濯サービスなどが提案されており、これら新サービスを医療・介護等の事業者は自らが得意とする専門性の高いサービスに経営資源を特化させつつ、民間の事業者と連携する産業間連携の推進で実現していく方向性を提示した。さらに、このような産業間連携を促進するためには、地域内の福祉関連の事業者、その他産業の事業者のほか、自治体（高齢者福祉部局と産業振興部局の双方）、

産業支援組織、ケアマネジャー、住民自治組織（自治会、町会等）など多様な主体が参画し、地域の課題を共有する「地域別プラットフォーム」の構築が有効であることも提示した。また、「地域別プラットフォーム」の構築を行っていく上では、行政が積極的に関与することが必須であり、規制緩和や部局間の連携といった対策を行うことも重要である。

#### A. 検討委員会

回	開催日	開催場所
第1回	平成25年 6月12日(水)	金沢市 金沢都ホテル
第2回	平成25年10月10日(木)	金沢市 金沢都ホテル
第3回	平成26年 1月28日(火)	金沢市 金沢都ホテル
第4回	平成26年 2月28日(金)	金沢市 金沢都ホテル

#### B. 事例調査

調査日	調査場所
平成25年 8月 9日(金)	金沢市 医療法人社団映寿会（映寿会みらいグループ）
平成25年10月 3日(木)	越前市 有限会社ほっとリハビリシステムズ
平成25年10月 4日(金)	富山市 社会福祉法人射水万葉会
平成25年10月 4日(金)	砺波市 木村産業(株)
平成25年10月 7日(月)	横浜市 独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）
平成26年 2月20日(木)	大野市 (株)メンテナンスナカムラ
平成26年 2月20日(木)	福井市 医療法人厚生会（福井厚生病院グループ）
平成26年 2月21日(金)	金沢市 石川県高齢者生活サポート有限責任事業組合
平成26年 3月12日(火)	大阪市 ポシブル医科学(株)

## 2. 北陸地域の産業の活性化に関するプロジェクトに必要なコンサルティング及び支援事業

### 【継続事業2】

#### (1) 産・学・官との連携と支援活動

##### A. コンバートEV実証車の開発

コンバートEVの事業化を目指して、当財団と北陸経済連合会が平成24年度に立ち上げた「コンバートEV事業化研究会」の活動を継続し、プロジェクト推進のためのミーティング開催、研究会メンバーを招集しての情報発信・意見交換を実施した。

### 【プロジェクト推進ミーティング】

低コスト化に向けた課題の一つであるSRモーターとインバーターの供給について検討を実施し、研究会メンバーによる自主開発方針が出された。

〔開催日〕 平成25年 5月30日（木）

〔開催場所〕 金沢市 北国ビルディング4F会議室

〔参加者数〕 4社7名及び財団関係者3名

### 【平成25年度第1回コンバートEV事業化研究会】

名古屋市のタウンEV株が、コンバートEVの事業化事例を報告した。また、研究会メンバーがインバーター開発や海外展開調査を報告した。

〔開催日〕 平成25年10月22日（火）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔参加者数〕 24名

### 【平成25年度第2回コンバートEV事業化研究会】

金沢大学理工研究域機械工学系榎本啓士准教授が、今後のEV需要の背景になるエネルギーセキュリティについて基調講演をした。また、研究会メンバーが今年度の事業報告をした。

〔開催日〕 平成26年3月25日（火）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔参加者数〕 21名

## B. 次世代ロボット研究会

北陸の産業集積を活かし、北陸三県の大学・企業が有するロボット関連の知識・技術を結集させ、産業活性化を図ることを目的に、当財団と北陸経済連合会が事務局となり、平成23年9月に「次世代ロボット研究会・北陸」を発足し、活動を進めている。今年度の活動は以下のとおりである。

### (A) 平成25年度第1回次世代ロボット研究会・北陸

研究会メンバー等が、小松市のコマツ栗津工場を訪問し、最新鋭の建設機械工場におけるロボット利用や省エネの取り組みなどを見学した。工場の概要やICTを用いて自動制御を行う建機等について説明を受けた後、ロボットを活用して自動化を進めている生産ライン、自然水を利用した省エネ空調システム等を見学した。見学後は、栗津工場の技術者を交えて、ロボット等により自動化する作業と人間が行う作業との振り分けの考え方、GPSと衛星通信を用いてコマツが全世界に保有する30万台の

建機の稼働情報を管理するシステムなどについて、質疑応答がなされた。

〔開催日〕 平成25年6月20日（木）

〔開催場所〕 小松市 コマツ栗津工場

〔参加者〕 40名

#### **(B) 平成25年度第2回次世代ロボット研究会・北陸**

サービスロボット開発に係る国の政策の動向や、医療・介護分野を中心とする機器の開発状況等について、一般企業の方にも公開で開催した。日本のサービスロボットの安全性・機能性評価基準策定の動向や、豪州・欧州の介護機器活用状況について説明いただき、癒しロボット「パロ」、生活支援ロボットアームなど産業技術総合研究所が開発に参画した機器について紹介いただいた。

講演後は交流会を開き、サービスロボットに係る政策の動向、ロボットに用いるセンサー技術等について情報交換を行った。

〔開催日〕 平成25年7月9日（火）

〔開催場所〕 富山市 アーバンプレイスビル

〔講演〕 「サービスロボットの開発をめぐる最新の動向」

独立行政法人 産業技術総合研究所 知能システム研究部門

サービスロボティクス研究グループ長 松本 吉央 氏

〔参加者〕 40名

#### **(C) 平成25年度第3回次世代ロボット研究会・北陸**

研究会のメンバーが、「災害対応ロボット技術交流会」（福井県および若狭湾エネルギー研究センター主催）に参加した。国のロボット開発支援策に関する講演等を聴講した後、大学やメーカーなど25団体から出展された災害対応ロボットの実機・実演を見学した。

〔開催日〕 平成26年1月24日（金）

〔開催場所〕 敦賀市 きらめきみなと館

〔参加者〕 30名

#### **(D) 平成25年度第4回次世代ロボット研究会・北陸**

研究会メンバー14名が出席し、ロボット関係の助成制度の紹介やメンバーそれぞれの近況報告および、今後の活動についての意見交換を行った。

その後、一般の企業等も交え講演会を開催した。講演後には講師や研究会メンバーなどが参加し、交流会を行った。

〔開催日〕 平成26年3月18日（火）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔講演〕 「介護現場から発する「既存介護ロボットの課題点」とオリックス・リビングの取り組みについて」

オリックス・リビング(株) 企画室 企画チーム長 入江 徹 氏  
「ロボット開発支援施策について（ロボット介護機器・社会インフラ点検ロボット）」

経済産業省 製造産業局 産業機械課 課長補佐 北島 明文 氏

〔参加者〕 50名

### C. 高信頼システム情報交換会・北陸

北陸経済連合会と北陸先端科学技術大学院大学が共同で、北陸の企業の経営層、技術者を対象に、IT関連システムの開発技術向上ならびに人材育成を目的に開催しており、当財団は下記について共催した。

#### 【第3回情報交換会】

〔開催日〕 平成25年8月9日（金）

〔開催場所〕 金沢市 ITビジネスプラザ武蔵

〔主催〕 一般財団法人北陸産業活性化センター・北陸経済連合会・北陸先端科学技術大学院大学

〔参加者〕 44名

〔講演〕 「企業の身近なビッグデータご活用」

富士通(株) 統合商品戦略本部ビッグデータイニシアティブセンター  
シニアエキスパート 利光 哲哉 氏

### D. 研究会との連携

旧「北陸ものづくり創生協議会」のメンバーが継続している4研究会（NPO法人北陸ライフケアクラスター研究会など）と共同事業を実施した。

#### (A) CFRP-PT (carbon fiber reinforced plastics : 炭素繊維強化プラスチック) プロジェクトチーム

3D繊維構造体の中空による軽量化と層間剥離防止の新材料開発を目標に、CFを用いた芯鞘構造繊維（複合繊維）を開発する検討会を実施した。複合繊維の製造については、検討を重ねた結果、熔融紡糸は技術上不可能と判断し、今後はGFRP (glass fiber reinforced plastics) /CFRPを混じえた新材料の開発を目指すこととした。

〔会議・検討会〕

開催日	内容	開催場所
平成25年 6月11日(火)	3D繊維構造体について ヒアリング	福井県永平寺町 永平寺サイジング(株)
平成25年 7月18日(木)	入手サンプルの使用可否 検討	北国ビル会議室
平成25年 7月23日(火)	全体会議	北国ビル会議室
平成25年 9月30日(月)	KBセーレン(株)との意見 交換会	鯖江市 KBセーレン(株)
平成25年11月28日(木)	全体会議	北国ビル会議室
平成26年 2月 5日(水)	全体会議	北国ビル会議室

(B) BTLワーキング (Biomass to liquid ワーキング)

環境省「平成24年度地球温暖化対策技術開発・実証研究事業」のバイオマス・循環資源低炭素化技術開発分野分科会対象に採択された委託事業にアドバイザーとして参加した。実証用ベンチ装置4基を明和工業(株)に設置し、乾式メタン発酵の実証研究を実施した。当初の目標値の70%を達成し、事業は平成25年度で終了した。

〔テーマ名〕 生ゴミ・草本バイオマスの複合高効率メタン発酵の技術開発

〔概要〕 膨張軟化前処理と硫酸塩還元条件での可溶化及び高活性微生物利用技術を用いた草本バイオマスの高効率なメタン発酵技術の開発と、生ゴミの複合処理による更なる高効率な乾式・無排水メタン発酵手法を構築するための技術開発

〔参画機関〕 日本海ガス(株)、金沢大学、石川工業高等専門学校、ダイヤモンドエンジニアリング(株)、明和工業(株)

〔会議〕 平成25年4月10日(水) 明和工業(株)  
平成26年1月 9日(木) Web意見交換会

(C) 北陸産業活性化フォーラム

4研究会と合同で「基調講演」および4研究会のメンバーが、パネル・製品を展示しポスターセッションを行い、研究成果をPRし、異分野での技術交流を図る「異分野連携交流会」を実施した。

〔開催日〕 平成25年12月4日(火)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔主催〕 一般財団法人北陸産業活性化センター

〔共 催〕 NPO法人北陸ライフケアクラスター研究会、北陸マイクロナノプロセス研究会、ほくりく先端複合材研究会、ほくりく環境・バイオマス研究会

〔参加者〕 63名

<基調講演>

〔演 題〕 「グローバル化の中の地域経済～北陸のもつ可能性～」

福井県立大学地域経済研究所所長・特任教授 中沢 孝夫 氏

<異分野連携交流会>

〔出展社数〕 28企業・団体

各研究会の活動のPRの場として、また異分野の業種が情報交換等を行う場として交流会を開催した。各研究会のメンバー・団体がブース出展し、事業活動や製品について紹介を行ったほか、各参加者が情報交換などを行った。

## (2) 国等の事業の支援

国、地方自治体、独立行政法人、大学法人、経済団体、地域団体等が主催または実行委員会を組織して実施する事業で北陸地域の経済・産業の活性化に寄与する事業について、共催、後援、協賛、補助等の支援を実施した。

### A. 北陸技術交流テクノフェア〔共催〕

「R&D推進・研究助成事業」の紹介や平成23年度の研究成果を展示した。また、特別展の「加速する医療分野への進出」コーナーに、「北陸ライフサイエンスクラスター」も出展し、事業を紹介した。

〔開催日〕 平成25年10月16日（水）～18日（金）

〔開催場所〕 福井市 福井県産業会館

〔主催団体〕 技術交流テクノフェア実行委員会

### B. しんきんビジネスフェア「北陸ビジネス街道2013」〔後援〕

〔開催日〕 平成25年11月8日（金）

〔開催場所〕 金沢市 石川県産業展示館 4号館

〔主催団体〕 一般社団法人北陸地区信用金庫協会

### C. 2013年産業技術総合研究所中部センター研究発表会〔後援〕

〔開催日〕 平成25年6月25日（火）～26日（水）

〔開催場所〕 名古屋市 産業技術総合研究所 中部センター

〔主催団体〕 独立行政法人産業技術総合研究所中部センター



#### D. 東海北陸モノづくりビジネス・サミット 2013〔後援〕

〔開催日〕 平成25年10月9日（水）

〔開催場所〕 金沢市 ホテル日航金沢

〔主催団体〕 ㈱北陸銀行、㈱大垣共立銀行

#### E. 第8回企業&NPO協働アイデアコンテスト〔後援〕

〔開催日〕 平成25年10月17日（木）

〔開催場所〕 名古屋市 名古屋商工会議所ビル

〔主催団体〕 公益財団法人中部圏社会経済研究所

#### F. 国際ガラス展・金沢 2013〔後援〕

##### ・コンペティション展

〔開催日〕 平成25年10月23日（水）～11月4日（月・祝）

〔開催場所〕 石川県政記念しいのき迎賓館ギャラリーA

金沢21世紀美術館市民ギャラリーB

〔主催団体〕 国際ガラス展・金沢開催委員会

##### ・コレクション展

〔開催日〕 平成25年10月17日（木）～11月10日（日）

〔開催場所〕 石川県政記念しいのき迎賓館ギャラリーB

金沢21世紀美術館市民ギャラリーB

#### G. 医薬品分野知的財産セミナーin 北陸～企業競争力を高める知的財産活用～〔後援〕

〔開催日〕 平成25年10月31日（木）

〔開催場所〕 富山国際会議場

〔主催団体〕 中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

#### H. 観光品質認証制度の普及に係る講演会〔後援〕

「観光サービスの品質認証の仕組みと今後の普及に向けて

～観光品質の向上により、さらなるインバウンド拡大を～」

〔開催日〕 平成25年12月12日（木）

〔開催場所〕 石川県政記念しいのき迎賓館

〔主催団体〕 公益財団法人中部圏社会経済研究所

#### I. セキュアなITが創るつながる新産業創出セミナー〔後援〕

～“つながる”時代のライフケア領域とモノづくり領域～

〔開催日〕 平成26年2月14日（金）

〔開催場所〕 石川県地場産業振興センター

〔主催団体〕 中部経済産業局

### (3) 技術アドバイス・コーディネート活動

当財団の産学官連携コーディネーターは、産・学・官のマッチングを通じて課題を解決し、新規の成果に結びつけるべく活動をしている。企業、大学、省庁、自治体等から依頼を受けた案件については適切な相手先を紹介、またはこれらを訪問し自ら発掘した技術シーズ・ニーズについては関心を持ちそうな相手先の提案を行っている。これらのコーディネート活動案件には、当財団のR&D推進・研究助成採択テーマも含まれている。

コーディネート活動	件数	具体的内容・成果
依頼件数・提案件数	20件	
マッチング成立	11件	産学5件、産産3件、学学3件
さらなる進展あり	4件	具体的成果に向け検討中
具体的成果あり	3件	共同研究の実施、補助金獲得等

## 3. 文部科学省補助事業：地域イノベーション戦略支援プログラム【継続事業3】

### (1) 「ほくりく健康創造クラスター」事業

平成25年3月31日に終了した文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラム（グローバル型）について、事後評価に係る最終自己評価報告書の提出と、評価委員による現地ヒアリングがあり、ほくりく健康創造クラスター本部の元スタッフ（事業総括・研究統括・科学技術コーディネータ等）が中心となり対応した。

- ・最終自己評価報告書 提出

平成25年10月15日（火）

- ・現地ヒアリング

〔開催日〕平成25年11月12日（火）

〔開催場所〕金沢市 金沢大学 先端科学・イノベーション推進機構 会議室

また、ほくりく健康創造クラスターの後継事業として、平成25年3月に北陸3県が提案した地域イノベーション戦略支援プログラム「北陸ライフサイエンスクラスター事業」の採択に向け、文部科学省審査委員会ヒアリング（東京）への対応や、7月1日事業採択後の基本計画書・年度計画書の作成・提出及び補助金交付申請等に向けた対応を実施した。

- ・審査委員会ヒアリング

〔開催日〕平成25年5月28日（火）

〔開催場所〕東京都千代田区 文部科学省 中央合同庁舎

## (2) 「北陸ライフサイエンスクラスター」事業

文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラム（国際競争力強化地域）「健やかな少子高齢化社会の構築をリードする北陸ライフサイエンスクラスター」が平成25年7月1日に採択され、8月1日から事業を開始した。当財団は総合調整機関として、プロジェクトの総合的な推進を担うため、北陸ライフサイエンスクラスター推進室を設置するとともに、プロジェクトディレクター（PD）、統括コーディネータ、地域連携コーディネータ（CD）等を配備し、ライフサイエンス分野における研究開発から事業化までの体制の確立を行うことにより、富山・石川・福井の北陸3県が一体となった研究と事業化・商品化に向けた産学官連携の推進を図った。

### A. 地域イノベーション戦略の中核を担う研究者の集積

予防から診断、治療、さらに治療後予防を含めた循環型の取組を実施していくために、10の研究テーマにおいて、研究者を招へいし、研究開発に着手するとともに、事業化に向けた情報収集、意見交換等を進めた。

[研究テーマ]

- ・抗酸化物質（アスタキサンチン）による認知症予防機能性食品の開発
- ・新規TLRリガンドを活用した自然免疫増強剤及び炎症抑制剤の開発
- ・生活習慣病の重症度を診断するメタボリックチップ開発に向けた基盤研究
- ・生活習慣病の発症・進展における新規ターゲットとしてのToxic AGEs（TAGE）の関与とその阻止
- ・健康長寿社会の実現に向けた革新的デバイスを用いたチップ型ナノバイオ計測システムの創成
- ・チタンの微細加工ならびに異なるチタン接合技術による生体適合性のよい外科用インプラントの作製
- ・陽子線癌治療における高度な照射法に対応した検証技術の開発
- ・ナトリウム利尿ペプチドを用いる新たな癌治療戦略
- ・代謝工学を用いた抗炎症剤の開発
- ・抗原特異的な抗体産生細胞新規同定法の開発とその応用

### B. 大学等の知のネットワークの構築

PD、CD等が富山県、石川県、福井県の各県担当者とともに、マンスリーミーティング（毎月）、ラボミーティングを行い、事業推進、研究内容等について情報共有、事業推進・進捗管理等を行った。

<会議等>

## (A) キックオフフォーラム

事業概要、研究内容等を広く紹介するとともに、3県知事からの意気込みが表明され、企業等に事業への参画を呼び掛けた。また基調講演を行いライフサイエンス分野への関心を高めた。

〔開催日〕 平成25年12月19日（木）

〔開催場所〕 金沢市 ホテル日航金沢

## (B) 北陸ライフサイエンスクラスター推進協議会

### 【第1回】

事業提案を行った37団体のトップによる推進協議会を開催し、5年間の基本計画、平成25年度計画について紹介し、事業推進への協力を依頼した。また、事業に対する意見交換を行った。

〔開催日〕 平成25年11月6日（水）

〔開催場所〕 金沢市 ホテル日航金沢

### 【第2回】

平成25年度の活動状況の説明を行うとともに、平成26年度の事業計画概要について説明し、了承を受けた。

〔開催日〕 平成26年2月26日（水）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

## (C) 外部評価委員会（成果報告会と同時開催）

県・大学等の関係者に対して、事業内容・方針の説明と、招へい研究者等による研究の紹介、成果・方針等の報告を行い、外部評価委員から評価・アドバイスを受けた。

〔開催日〕 平成26年2月21日（金）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

## (D) 国際技術動向調査ユニット

### 【第1回】 〔国際技術動向調査ユニット委員会〕

早い時期に事業化が期待される3テーマについて、専門家を招き、国際競争力の強化に向け、情報収集、留意事項等について、情報交換・意見交換を行った。

〔開催日〕 平成26年2月6日（木）

〔開催場所〕 金沢市 北国ビル

### 【第2回】 〔クラスターシンポジウム〕

今後、拡大が見込まれる再生医療分野について、先進企業の開発担当者、法律に詳しい専門家を講師に招き、最先端の開発情報を得た。今後の周辺事業への参入に向け、

情報収集、体制作り、法律への対応等々、事業展開に向けた情報収集・意見交換を行った。

〔開催日〕平成26年3月7日（金）

〔開催場所〕金沢市 金沢都ホテル

#### <海外派遣等>

##### (A) 日・スイスクラスタ合同シンポジウムへ派遣

スイス・CTIと文部科学省がシンポジウムを開催することとなり、北陸ライフサイエンスクラスター概要を紹介し、国際連携の深耕を図るため、「日・スイス合同シンポジウム」に参加した。

〔派遣日程〕平成25年10月25日（金）～11月1日（金）

〔派遣地域〕スイス連邦 シュピーツ(Spiez)、バーゼル(Basel)など

##### (B) 「第14回北陸(日本)・韓国経済交流会議」へ派遣

北陸ライフサイエンスクラスター概要を紹介し、国際連携の深耕を図るため、「第14回北陸(日本)・韓国経済交流会議」に参加した。

〔派遣日程〕平成25年11月19日（火）～22日（金）

〔派遣地域〕大韓民国 大邱広域市、ソウル市

##### (C) 原州医療機器クラスター及び韓国大邱広域市への派遣

北陸ライフサイエンスクラスター国際連携に向けた情報交換等のため、原州医療機器テクノバレー財団、大邱広域市関係者等との会議、アルアリ物産社訪問打合せ等を行った。

〔派遣日程〕平成26年3月9日（日）～12日（水）

〔派遣地域〕大韓民国 江原道原州市、大邱広域市

#### <展示会出展等>

北陸ライフサイエンスクラスターの事業概要を広く紹介し、情報交換を行い、連携、交流を推進するため、展示会、シンポジウム等に出展した。

##### (A) 「北陸技術交流テクノフェア2013」<加速する医療分野への進出>に出展

〔開催日〕平成25年10月16日（水）～18日（金）

〔開催場所〕福井市 福井県産業会館

##### (B) 「地域イノベーションシンポジウム」に出展

〔開催日〕平成26年2月12日（水）～13日（木）

〔開催場所〕名古屋市 ポートメッセ名古屋

(C) 「中部IT融合セミナー&情報セキュリティーセミナー」に出展

〔開催日〕 平成26年2月14日(金)

〔開催場所〕 金沢市 石川県地場産業振興センター

(D) 産学連携・産産連携のマッチングイベント

「北陸メッセに向けて～新しい産学の集い」に出展

〔開催日〕 平成26年2月26日(水)

〔開催場所〕 金沢市 ホテル日航金沢

C. 地域における人材育成の取り組み

CDが中心となり、バイオ医薬品製造技術に関する人材教育プログラムの開発を行い、大学におけるセミナー開催を支援した。

D. 研究設備・機器等の共用化

医療機器、医薬品・機能性食品等の試作・評価等に活用できる機器のリストを作成し、関係機関に提供した。

4. 北陸地域の産業の活性化に関する研究に対する助成(R&D推進・研究助成)事業

【継続事業5】

企業・大学等の研究機関に幅広く案内し、①エネルギー・②環境・③ものづくり・④製造技術・⑤地域活性化の5分野で案件を募集した。審査は各分野の専門家から構成される審査委員会にて厳正に行い、助成対象者を決定した。交付決定通知書交付式では、併せて研究助成成果発表会を開催した。

<審査委員会>

〔開催日〕 平成25年7月12日(金)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔委員〕 委員長 都築 明博 独立行政法人産業技術総合研究所中部センター  
産学官連携コーディネータ ほか3名

(1) 応募件数と助成決定結果

応募件数	助成件数	助成金額
36件	7件	20,000千円

## (2) 研究テーマと助成対象者

研究テーマ	申請者	助成金 (千円)
メタルウエハーの高精度めっき仕上げによるLED基盤の高度化技術の開発	(株)高松メッキ	3,000
高齢者、小児、患者などが服用し易い経口固形製剤に関する研究	テイカ製薬(株)	3,000
共焦点顕微鏡による悪性脳腫瘍の術中診断・治療システムの開発	金沢大学 医薬保健研究域 医学系 助教 中田 光俊	3,000
生体吸収性材料および非培養脂肪由来幹細胞を用いた人工神経の開発	金沢大学 整形外科 助教 多田 薫	3,000
富山湾より採取・単離した新規微細藻類の機能性の検証	富山大学 理工学研究部 教授 中村 省吾	3,000
液体燃料循環型社会の構築を想定した安定運転が可能な直接ギ酸形燃料電池の開発	金沢大学 理工研究域 助教 辻口 拓也	3,000
内部加熱・冷却による回転成形プロセスの最適化	(株)タカギセイコー	2,000

### < 交付決定通知書交付式・研究助成成果発表会 >

〔開催日〕 平成25年 8月 6日 (火)

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔成果発表〕

発表テーマ	発表者
「マグネシウム合金の冷間転造加工に関する研究」	(株)月星製作所
「難削材の高効率・高精度加工を実現するUBMSフリーカーボン含有コーティング膜の開発」	(株)北熱
「栗皮からのポリフェノール抽出技術の開発及び食品への高度利用」	(株)スギヨ

また、平成23年度の採択分について、成果報告を会報、ホームページに掲載し、北陸技術交流テクノフェアで、成果報告のパネルや試作品を展示し、研究助成先の担当者が成果について説明を行った。

## 5. 北陸地域の産業活性化のための普及啓発事業 【継続事業6】

### (1) 講演会・セミナー等の開催

#### A. 農業分野の6次産業化講演会

北陸地域の農業分野での新産業創出を図るため、農商工連携に詳しい講師を招請し、国内における生産・加工・流通・販売などのシステム形成や事業の実施方法などについて講演をいただき、北陸地域産業界や経済界の今後の成長戦略についての道筋を探るべく講演会を開催した。

〔開催日〕 平成25年11月29日（金）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔後援団体〕 北陸経済連合会、北陸環日本海経済交流促進協議会

〔参加者〕 53名

〔講演〕 「6次産業化を巡る最近のトピックと展開の可能性」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 公共経営・地域経済部  
食産業・地域戦略グループ長 主任研究員 小谷 幸司 氏

「地域版6次産業化の実現方策」

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 公共経営・地域経済部  
食産業・地域戦略グループ 研究員 村上 聡江 氏

#### B. 北陸におけるIT活用による医療連携調査報告会

平成24年度調査事業「北陸地域における医療分野のIT化と広域ネットワーク化に関する調査」の報告会を開催した。第1部では、少子高齢化が急速に進む中で、医療のIT化とネットワーク化について、北陸や全国の事例を調査して、今後の医療連携のあり方について提言をまとめた報告書の内容を紹介した。第2部では調査委員会の委員4名を招き、医療ITとネットワーク化について活発な議論が展開された。

〔開催日〕 平成25年6月1日（土）

〔開催場所〕 金沢市 ホテル日航金沢

〔主催〕 一般財団法人北陸産業活性化センター

〔参加者〕 103名

〔第1部：調査報告〕

「北陸地域における医療分野のIT化と広域医療ネットワーク化に関する調査」

日本各地および北陸で試みられている医療ネットワークの現状と成功に導く要因、産業界からのサポートについて

一般財団法人北陸経済研究所 主任研究員 藤沢 和弘 氏



[第2部：パネルディスカッション]

「医療ITとネットワーク化について」

<司会・進行> 一般財団法人北陸産業活性化センター 業務部部长 中田 哲治

<パネリスト> 公立能登総合病院 院長 吉村 光弘 氏

黒部市民病院 循環器科 部長 中田 明夫 氏

大野内科医院 理事長 大野 秀棋 氏

福井大学医学部 地域医療推進講座 講師 山村 修 氏

一般財団法人北陸経済研究所 主任研究員 藤沢 和弘 氏

(2) 技術シーズ(研究成果)の発表会の開催

A. 産業技術総合研究所「技術普及講演会」

北陸地域の産業の高度化や新産業の創出等の支援活動として、産業技術総合研究所中部センターの講師が同センターのシーズを紹介した。

また、平成26年度の国の支援制度を中心に、中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局から施策の概要を説明した。

[開催日] 平成26年3月14日(金)

[開催場所] 金沢市 金沢勤労者プラザ

[共催団体] 独立行政法人産業技術総合研究所中部センター

[参加者] 48名

[講演テーマ]

【研究テーマ(講師：産業技術総合研究所)】

- ・戦略メタル資源循環技術(都市鉱山)プロジェクトの展開
- ・再生医療用細胞の新規製造システムの開発
- ・レアメタルレス熱電変換材料の開発と実用化検討

【国の施策(経済産業省中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局)】

- ・平成26年度 経済産業省関連施策の概要

(3) 情報提供事業

A. 会報の発行

会報88号(平成25年7月)、89号(平成25年11月)、90号(平成26年3月)を発行し、関係先に配布した。

B. ホームページによる情報発信

当財団のホームページを随時更新し、各種情報のタイムリーな提供を実施した。

- ・講演会、セミナーの開催案内
- ・R&D推進・研究助成事業の募集案内

- ・会報誌の掲載 ほか

### C. パンフレットの発行

当財団の概要や事業などを紹介したパンフレットを作成し、周知活動に使用した。

## 6. 連絡会議等の開催

### (1) 連絡会議

当財団の事業活動と意を同じくする全国の産業活性化センター及び地域技術センターと、それぞれの地域事情や共通課題の解決に向けて、意見交換や交流を図った。

#### A. 第41回全国産業活性化センター連絡会議

〔開催日〕 平成25年10月24日（木）～25日（金）

〔開催場所〕 宮城県石巻市 石巻グランドホテル

#### B. 全国地域技術センター連絡協議会

第1回 〔開催日〕 平成25年7月11日（木）

〔開催場所〕 東京都 霞山会館

第2回 〔開催日〕 平成25年11月21日（木）～22日（金）

〔開催場所〕 高知市 オリエンツホテル高知

実務連絡会 〔開催日〕 平成25年10月11日（金）

〔開催場所〕 札幌市（公財）北海道科学技術総合振興センター

#### C. 第12回北陸・中部産業活性化センター連絡会議

〔開催日〕 平成26年1月17日（金）

〔開催場所〕 名古屋市（公財）中部圏社会経済研究所

### (2) 賛助会員企業・団体連絡会

賛助会員企業・団体との情報交換を密に行うために、管理部門及び総務部門の代表の皆様に対し、事業計画や事業予算及び主要実施業務を説明し、当財団に対する理解と指導・支援を求めた。

〔開催日〕 平成25年 4月25日（木）

〔開催場所〕 金沢市 金沢都ホテル

〔出席会員企業〕 8社

## Ⅱ. 総務事項

### 1. 理事会の開催

#### (1) 第7回理事会

- 〔開催日〕 平成25年6月7日（金）  
〔場 所〕 ホテル日航金沢  
〔出席者〕 理事5名、監事2名  
〔議 案〕 第1号議案 平成24年度事業報告書（案）について  
第2号議案 平成24年度財務諸表（案）及び監査報告書について  
第3号議案 平成24年度収支補正予算（案）について  
第4号議案 平成24年度公益目的支出計画実施報告書（案）及び監査報告書について

#### (2) 第8回理事会（書面決議）

- 〔理事会の決議があったものとみなされた日〕  
平成25年6月27日（木）  
〔同意者〕 理事6名  
〔確認者〕 監事2名  
〔議 案〕 代表理事1名及び専務理事1名、常務理事兼事務局長1名選任の件

#### (3) 第9回理事会（書面決議）

- 〔理事会の決議があったものとみなされた日〕  
平成25年7月24日（水）  
〔同意者〕 理事6名  
〔確認者〕 監事2名  
〔議 案〕 第1号議案 平成25年度事業計画書の一部変更（案）について  
第2号議案 平成25年度第2次収支補正予算（案）について  
第3号議案 北陸ライフサイエンスクラスター事業開始に伴う財団機構の一部変更（組織の一部新設）と関連諸規程の制定（案）について

#### (4) 第10回理事会

- 〔開催日〕 平成25年10月9日（水）  
〔場 所〕 金沢都ホテル  
〔出席者〕 理事5名、監事1名  
〔議 案〕 第1号議案 平成26年度研究成果展開事業（スーパークラスタープログラム）への応募（案）について  
第2号議案 平成25年度臨時評議員会開催（案）について

## (5) 第11回理事会

- 〔開催日〕 平成26年3月4日（火）  
〔場 所〕 ホテル日航金沢  
〔出席者〕 理事4名、監事2名  
〔議 案〕 第1号議案 平成26年度事業計画書（案）について  
第2号議案 平成26年度収支予算（案）について  
第3号議案 一般財団法人北陸産業活性化センター定款の一部改訂（案）について  
第4号議案 賛助会員の新規入会（案）について

## 2. 評議員会の開催

### (1) 第7回評議員会

- 〔開催日〕 平成25年6月21日（金）  
〔場 所〕 ホテル日航金沢  
〔出席者〕 評議員5名  
〔議 案〕 第1号議案 平成24年度財務諸表（案）及び監査報告書について  
第2号議案 平成25年度収支補正予算（案）について  
第3号議案 平成24年度公益目的支出計画実施報告書（案）及び監査報告書について  
第4号議案 理事及び監事の選任（案）について

### (2) 第8回評議員会（書面決議）

- 〔評議員会の決議があったものとみなされた日〕  
平成25年7月30日（火）  
〔同意者〕 評議員5名  
〔議 案〕 第1号議案 平成25年度事業計画書の一部変更（案）について  
第2号議案 平成25年度第2次収支補正予算（案）について  
第3号議案 北陸ライフサイエンスクラスター事業開始に伴う財団機構の一部変更（組織の一部新設）と関連諸規程の制定（案）について

### (3) 第9回評議員会

- 〔開催日〕 平成25年10月16日（水）  
〔場 所〕 金沢都ホテル  
〔出席者〕 評議員5名  
〔議 案〕 平成26年度研究成果展開事業（スーパークラスタープログラム）への応募（案）について

#### (4) 第10回評議員会

〔開催日〕 平成26年3月20日（木）

〔場 所〕 ホテル日航金沢

〔出席者〕 評議員4名

〔議 案〕 第1号議案 平成26年度事業計画書（案）について

第2号議案 平成26年度収支予算（案）について

第3号議案 一般財団法人北陸産業活性化センター定款の一部改訂  
（案）について

#### 3. 業務及び財産状況の検査

平成25年5月30日（木） 監事監査

#### 4. 登記事項

平成25年7月11日 一般財団法人変更登記 理事・監事・代表理事

#### 5. 内閣府への認可申請・届出事項

平成25年6月27日 公益目的支出計画実施報告書

平成26年1月23日 公益目的支出計画実施報告書修正提出書

#### 6. 定款の一部変更

平成26年3月20日

#### 7. 労働基準監督署届出事項

平成25年7月31日 時間外労働・休日労働に関する届出書

平成25年8月27日 就業規則届

以上

## 【附属明細書】

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する事業報告内容を補足する重要な事項はありません。

以 上